



すみ・ひでひろ  
慶大商卒、1980  
年安田火災海上保  
険（損害保険ジャ  
パン日本興亜）入  
社。取締役常務執  
行役員などを経て  
2018年10月から現  
職。和歌山県出  
身。

SOMPOヘルスサポート社長  
角秀洋さん(62)

## トップは語る

—10月1日付でSOMPOリスケアマネジメントを分割し、ヘルスケア専門会社のSOMPOヘルスサポートを発足した

「自然災害などに対する企業向けのリスクコンサルティングと、心と体の健康に資するヘルスケアを1つの会社で展開していたが、専門会社として企業の役割を明確にしてヘルスケアに注力する。個人、企業、政府が健康寿命延伸のニーズを高めており、事業拡大の好機だ」

—新会社の強みを

「保健師らが食事や運動などを指導して生活習慣病を予防する特定保健指導と、臨床心理士らが心の不調を訴える方にストレスマネジメントをするメンタルヘルスを手掛け、全国に1550人の専門職のネットワークがある。特定保健指導では1年間に健康保険組合など550団体15万人に指導し、約40%のトップシェア、メンタルヘルスでは取引先が1200社あり、顧客基盤も強みだ」

—経営課題は

「現在は健保組合や企業を通じて組合員や社員らにサービスを提供しているが、直接顧客に提供するビジネスモデルをつくりたい。特定保健指導は健康保険給付の中で賄われており、健保組合の財政が厳しくなる中でそれだけに頼ると飛躍できないからだ。グループの基盤を活用し、スピード感を持って取り組まなければならない」

—具体的には

「人工知能（AI）などデジタル技術を活用し、顧客の健康行動の継続などにつながる新たなサービスモデルを2、3年以内につくりたい。生活習慣を変えようという意識が高い人に、自ら進んで行動したと思えるような仕組みをアプリやデバイスと組み合わせて仕掛けられないかと考えている。他社とのアライアンスも活用しながら個人に最適なヘルスケアサポートを提供したい」

AI活用で新たな健康サービス提供